2017 年 11 月 27 日作成（第１版）
＊2018 年 3 月改訂（第２版）

届出番号：13B2X00231001034

機械器具（18）血圧検査又は脈波検査用器具
アネロイド式血圧計　16156000　一般医療機器

ｅｓ マノメーター Ｐａｌｍ Ｏｎｅ Ｓ２１３ＧＥ

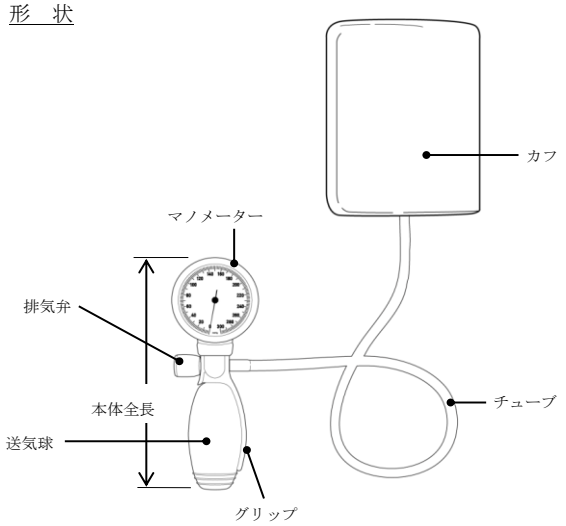
【禁忌・禁止】

１．測定は２分以内に実施し、測定が終わったら速やかにカフ内の空気を抜き、患者の腕からカフを外すこと。[患者の血流障害・末梢神経の損傷を引き起こす可能性がある]
２．傷などの未治癒の腕にカフを巻かないこと。
３．治療中の静脈注射や輸血を行なっている場合はカフを巻かないこと。[ケガや事故をおこす恐れがある]
４．300mmHg 以上の加圧をしないこと。衝撃・落下を避けて使用すること。[故障の原因となる]

【形状・構造及び原理等】

本品は、血圧測定値を表示するマノメーター（アネロイド式圧力計）、腕周に巻きつけるカフ、加圧するための送気球、減圧するための排気弁、カフへ送気するチューブで構成されたアネロイド式血圧計である。
本品は、グリップ部の向きをマノメーター目盛りに対して左又は右に回し替えができるため、操作者の利き腕（右手または左手）に適合することができる。

１．形状及び寸法
形　状



寸　法

本体全長 (マノメーターから送気球まで)	約 17cm
マノメーター直径	約 6.2cm
カフ：縦×横	カフ・空気袋一体型付 ：約 13.3×51cm カフ・空気袋別型付 ：約 14×51cm

重　量
カフ・空気袋一体型付：約 191ｇ
カフ・空気袋別型付：約 216ｇ

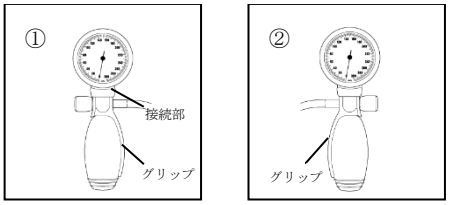
【使用目的又は効果】

腕周に巻きつける加圧可能のカフ、カフ内の空気圧を調節する弁、アネロイド式圧力計から構成される機器をいう。

【使用方法等】

１．カフ内の空気を排気弁により完全に抜いてから、被検査者の左上腕の肘関節から２cm 上の位置にカフをきつく巻きつける。
２．被検査者をカフ上部と患者大動脈弁が水平になるような位置にする。
３．排気弁が閉じている(排気弁のネジが時計方向に締まっている)ことを確認する。
４．聴診器を使ってコロトコフ音を聞きながら、送気球でカフを加圧する。
５．送気球を数回握って、カフが膨らむとカフ内の圧力上昇に伴って指針が示す圧力値も上昇する。予想される収縮期圧より 20～30mmHg 上まで加圧する。
６．４～５回の心拍を待ってから、排気弁を少し開く。減圧速度は、１秒当たり２～３mmHg が理想的である。
７．マノメーターの指針値が緩やかに下降することを確認する。聴診器からコロトコフ音が聞こえ始めた時のマノメーターの指針が示す値を読む。この値が収縮期圧値になる。
８．さらにマノメーターの指針値の下降に伴って、コロトコフ音が徐々に弱まり、コロトコフ音を最後に聞くことができた時のマノメーターの指針が示す値を読む。この値が拡張期圧値である。
９．検査終了後、排気弁を開いて、カフ内の空気を完全に抜く。

グリップ位置左右変更方法



１．グリップ位置を左右変更するときには、マノメーターとグリップの接続部を回す。　図①
２．グリップ位置を左右変更した状態。　図②

【使用上の注意】

１．再測定する場合、２分間待ってから実施してください。
２．本品を汚したり濡らさないこと。
３．鋭利なもので傷つけないこと。[加圧できなくなる]
４．本品に紫外線を直接当てないこと。[劣化]

【保管方法及び有効期間等】

１．保管方法
温度：０～40℃、湿度：85％以下の場所で保管してください。

【保守・点検に係る事項】

１．汚れを落とすには、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れが落ちにくい時は、薄めた中性洗剤で湿らせた布で拭いてください。化学薬品やアルコールが含まれている洗浄液は絶対に使用しないこと。
２．カフ･空気袋別型の洗濯
・カフから空気袋を抜き出す。
・洗濯する前にカフのマジックテープ同士合わせて止めるようにし、折り畳んで洗濯してから、自然乾燥する。
・手洗いを推奨します。乾燥機使用不可。
・カフ･空気袋一体型は洗濯不可。
３．校正
測定値の確度を保証するため、２年毎に精度点検・校正を行なうことをお勧めします。校正は、製造販売業者または認定業者に依頼してください。
４．部品交換や修理をする場合は、本品製造業者の純正部品だけを使用してください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：eastsidemed 株式会社 ＊
東京都文京区本郷3-24-5
TEL 03-3815-0056　FAX 03-3818-4085

取扱説明書を必ずご参照ください